

**アジア共同学位開発プロジェクト
調査報告書**

提出日：平成23年11月1日

報告者名：柴山直

○訪問先
中国・華東師範大学
○訪問期間
平成23年10月24日（月）
○訪問者
柴山直 教育学研究科教授(団長)、上埜高志 教育学研究科教授、小川佳万 教育学研究科准教授、安保英勇 教育学研究科准教授、朴仙子 教育研究支援者、小野寺香(大学院生 D2)
○訪問の目的・経緯等
本プロジェクトに関する意見交換と協力依頼
○先方対応者
彭利平副教授（国際交流所副所長） 周永迪教授（心理・認知科学学院院長、脳機能遺伝子学教育部重点実験室主任）ほか3名
○成果
下記の成果が意見交換の結果得られた 1. 言語の問題 英語なら華東師範大学側は対応可能 2. 共同学位の定義 ジョイントなのかダブルなのか ダブルが現実的であろうとの認識で一致 3. 費用：学費は基本的に相互免除、生活費等は未定、旅費は学生負担 4. 単位に関する日中の定義の違い 2単位 90分×18コマ（日本 2単位 90分×15コマ） 5. 修士課程年限に関する日中の定義の違い 中国では学術課程3年 専門職課程2年 6. その他： 大学院に入るときにこのプログラムを学生に周知させる必要がある 先方大学院は認知・脳科学に力を入れているとのこと 協議継続可 12月のシンポジウムの招聘打診(正式依頼があれば検討するとの回答を得た)